

青森県
春季高校野球

第4日

春季青森県高校野球選手権第4日は26日、八戸市長根球場で準決勝の試合を行い、それぞれ勝利した弘前

東と八光星が、東北大会(青森市、6月7-11日)の出場権を獲得した。
 弘前東は青森を相手に、本塁打を含む10得点でコールド勝ち。八光星は食らい付く弘前工を、終盤に振り切って勝利した。
 大会最終日の27日は、長根球場で午前10時から3位決定戦、午後0時半から決勝をそれぞれ行う。(里村静、中山翔希)



試合速報

まよのの結果
 ▼準決勝
 弘前東10-0青森(6回コールド)
 八光星7-1弘前工(3位決定戦)
 まよのの試合
 ▼3位決定戦
 青森弘前工(10-00)
 ▼5位
 弘前東八光星(12-30)

光星、弘前東北大会へ

光星 終盤 一気に

準決勝

△弘前東 0000001013 17
 勝俊、下山(△) 阿保(△)
 松本 00000000000117
 俊俊、山崎(△) 阿保(△)

(△) 中村、後藤、松谷
 (△) 光星、横嶺、盛
 ▼本塁打 近藤俊、東(△)
 ▼二塁打 但井、武岡、近

二塁、松谷の飛球で先制。
 四、七、八回と確実な得点を重ね、九回には近藤俊と東がそれぞれ本塁打を放ち、勝負を決めた。
 弘前工は六回に阿保の二塁適時打で1点を返す意地を見せたが、好機あど一本が出なかった。

あと一本出す。
 ○…勝負どころで一本が出なかった弘前工。満塁アウトに迫った。しかし、その後の好機を生かし切れず、七回以降は三者凡退に抑えられて涙をのんだ。
 敗戦にも「バットイングでは、徐々に手応えを感じている」と阿保。「次は弘前工の力をしっかり出した」と東北大会の出場権獲得へ意気込みを話した。

今大会初登板 中村粘る

相手の先発米澤将の配球に踊らされて、外角の球を捉えきれず、なかなか好機を生かせなかった光星打線。結果的に大勝だったが、苦しい試合展開に「内外のコースを分けける、制球力のある投手に対応できていない」と中井監督は振り返った。

一回に先制し、四回に追加点挙げたものの、六回と一点を返され、接戦に持ち込まれた。それでも七、八回に1塁ずつ加え、迎えた最終回、交代した投手のストライクを攻略した近藤俊と東、健太郎のソロアツを含むタメ押しで3点で勝利をものにした。

一方、打線が苦戦する中、今大会初登板の先発中村優惟が奮闘。初回一塁を、二回のピンチを他のストライクで乗り切った。五回まで無失点に抑える粘投を見せた。四球(二塁打で失点し)、一塁打となった六回にマウンドを降ろした中村「最少失点に抑えられたのは良かったと評価しつつも、一人で投げ切ったかった」と悔しさを見せた。

(里村静)



【八光星—弘前工】好投した光星の中村優惟＝長根

弘前工	投手	打点	安打	点	球	失
2	0	0	1	1	5	2
3	0	0	1	1	5	2
4	0	0	1	1	5	2
5	0	0	1	1	5	2
6	0	0	1	1	5	2
7	0	0	1	1	5	2
8	0	0	1	1	5	2
9	0	0	1	1	5	2
投	手	0	3	3	8	5
投	浦	0	3	3	8	5
投	後	0	3	3	8	5
球	打	0	3	3	8	5
失	点	0	3	3	8	5
球	3	3	8	5	2	0
失	点	0	3	3	8	5
球	3	3	8	5	2	0
失	点	0	3	3	8	5

青森	投手	打点	安打	点	球	失
2	0	0	0	0	2	0
3	0	0	0	0	2	0
4	0	0	0	0	2	0
5	0	0	0	0	2	0
6	0	0	0	0	2	0
7	0	0	0	0	2	0
8	0	0	0	0	2	0
9	0	0	0	0	2	0
投	手	0	0	0	2	0
投	浦	0	0	0	2	0
投	後	0	0	0	2	0
球	打	0	0	0	2	0
失	点	0	0	0	2	0
球	2	2	4	0	5	2
失	点	0	0	0	2	0
球	2	2	4	0	5	2
失	点	0	0	0	2	0